

令和5年度訪問看護師スキルアップ研修 開催一覧

※詳細については、それぞれの開催要項をご確認ください。

※病院ごとに参加ルールがありますのでご注意ください。

※申込時に病院への希望等がありましたら、研修申込書に記入ください。

No	開催場所(圏域)	開催日	定員	締切	備考
1	厚生連高岡病院 (高岡)	9/11(月)	20	8/22(火)	・病院指定の駐車場あり
2	富山県済生会富山病院 (富山)	10/23(月)	6	9/29(金)	・急変対応時の医療用具等、訪問時の携帯物品持参
3	富山県立中央病院 (富山)	11/8(水)	8	9/29(金)	・病院指定の駐車場あり
4	黒部市民病院 (新川)	11/11(土)	20	9/29(金)	・サージカルマスク装着 (アイガードは病院で準備) ・聴診器、スマートフォン持参
5	市立砺波総合病院 (砺波)	11/21(火)	5	9/29(金)	・ゴーグル持参 ・当日、健康チェック及びコロナ陽性者との接触歴を受付時確認 ・病院指定の駐車場あり
6	富山赤十字病院 (富山)	11/29(水)	5	9/29(金)	・病院指定の健康調査用紙あり (1週間前から健康観察) ・サージカルマスク着用 ・アイシールド持参

訪問看護師スキルアップ研修 開催要項

開催日時	令和5年9月11日(月)	8:30~16:00
会場	厚生連高岡病院	
集合場所	講堂（北診療棟3階）	

1 目的 近年、医療技術の進歩と療養環境の多様化により、医療ニーズの高い患者の在宅療養が可能となっている。そのため、訪問看護師は在宅で複雑な医療機器の管理から終末期患者の看取りなど、高度で幅広いスキルが求められている。

今回の研修は、訪問看護サービスの質の向上と、訪問看護師と病院看護師の連携強化を図り、病院と地域が一体となって看護のレベルアップを目指すことを目的とする。

- 2 目標
- 1) 最新の専門的な医療、看護技術を学ぶ
 - 2) アセスメント能力の向上を図る
 - 3) 病院看護師と訪問看護師で意見交換を行い、顔が見え、信頼できる関係構築を図る

3 主催 富山県・富山県看護協会

4 講師	厚生連高岡病院	看護部 副看護部長	川合 邦江
		集中ケア認定看護師	松木 健宏
		集中ケア認定看護師	三輪 哲也
		急性・重症患者看護専門看護師	寺井 彩
		皮膚・排泄ケア認定看護師	山田 優子
		皮膚・排泄ケア認定看護師	開 千春
		がん性疼痛看護認定看護師	浦上 裕美
		感染管理認定看護師	窪田 恵子
		認知症看護認定看護師	山本 亜希子
		言語聴覚士	毛利 永吏子
		リンパドレナージセラピスト（理学療法士）	吉田 千尋

5 プログラム

時間	内容
8:30 ~ 9:00	受付
9:00 ~ 9:10	オリエンテーション
9:10 ~ 9:40	人工呼吸器管理、フィジカルアセスメント
9:40 ~ 10:10	排尿ケア
10:10 ~ 10:40	摂食嚥下障害患者のケア (10:40~10:50 休憩)
10:50 ~ 11:30	リンパ浮腫のケア
11:30 ~ 12:00	在宅における感染対策 (12:00 ~ 13:00 昼食)
13:00 ~ 13:30	認知症患者の看護
13:30 ~ 14:00	褥瘡・ストーマケア
14:00 ~ 14:30	がん性疼痛看護 (14:30~14:40 休憩)
14:40 ~ 15:20	カンファレンス
15:20 ~ 15:40	まとめ・アンケート

訪問看護師スキルアップ研修 開催要項

開催日時	令和5年10月23日(月) 8:30~17:00
会場	富山県済生会富山病院
集合場所	1階総合受付(受付で柳原副看護部長に連絡していただく)

1 目的 訪問看護に従事している看護師が、地域の公的病院で在宅医療に必要な看護技術、アセスメント能力を高めるための実地研修を開催し、県内における訪問看護サービスの質の向上につなぐ。

院内の専門看護師や認定看護師、退院支援調整看護師等と意見交換の場を通じて、病院と訪問看護ステーションの連携強化を図る。

- 2 目標
- 1) フィジカルアセスメントを理解し、救急患者・重症患者の観察ができる。
 - 2) 集中治療を受けている患者に必要な看護技術が提供できる。
 - 3) 病院・在宅の違いを多職種と情報交換できる。

3 主催 富山県・富山県看護協会

4 講師 済生会富山病院

救急看護認定看護師	平野 奈央子
集中ケア認定看護師	稲田 浩子
地域連携室師長	山下 真弓
地域連携室副看護師長	平能 さゆみ
副看護部長(アドバイザー)	柳原 照代

5 プログラム

時間	内容
8:50 ~9:00	オリエンテーション
9:00 ~10:00	講義：フィジカルアセスメント
10:00 ~12:00	実地研修：救急センター 患者受け入れ、観察・検査・治療の流れ BLS：心肺停止の判断・補助呼吸（BVM）・胸骨圧迫・窒息時の対応
12:00 ~13:00	休憩
13:00 ~15:00	実地研修：HCU 人工呼吸器装着患者の観察・看護 呼吸フィジカルアセスメント・体位の工夫・気管切開にユレ吸引ケア 創傷ケアのある患者（処置・予防援助）
15:00 ~16:00	RST（呼吸サポートチーム）ラウンド見学
16:00 ~16:50	地域連携室（訪問看護との連携について：講義 10 分間） 地域連携室・講師等との意見交換
16:50 ~17:00	アンケート記入、終了

訪問看護師スキルアップ研修 開催要項

開催日時	令和5年11月8日(水) 8:45～16:30
会場	富山県立中央病院
集合場所	先端医療棟3階 シミュレーションセンター

- 1 目的
- 1)訪問看護師が在宅支援に必要な最新の知識や看護技術を学ぶ。
 - 2)医療機関で実践している退院指導や家族支援を理解することで、在宅でのケアに応用する。
 - 3)訪問看護師と認定看護師が交流を図ることで、顔の見える関係性を構築し、今後の連携強化に活用する。
- 2 目標
- 1)認知症や呼吸ケア、リンパ浮腫ケアに関する知識・看護技術のアップデートを図ることができる。
 - 2)心不全、透析、摂食嚥下障害、医療的ケア児に対する退院支援について理解できる。
 - 3)訪問看護師と病院看護師が在宅移行や退院調整に必要な意見交換ができ、他のステーションとの情報交換を図る。

3 主催 富山県・富山県看護協会

4 講師	富山県立中央病院	慢性心不全看護認定看護師	大工 真人
		認知症看護認定看護師（特定行為研修修了）	宮元 滋宏
		摂食・嚥下障害看護認定看護師	河口 絵里奈
		乳がん看護認定看護師（特定行為研修修了）	嶋倉 裕美
		腎不全看護認定看護師（特定行為研修修了）	高尾 貢三子
		呼吸器疾患看護認定看護師（特定行為研修修了）	田中 一美
		新生児集中ケア認定看護師（特定行為研修修了）	林 美智子
		小児救急看護認定看護師	柿沢 有希子

5 プログラム

時間	内容
8:45 ～ 9:00	受付
9:00 ～ 9:10	オリエンテーション、看護研修科長挨拶
9:10 ～ 9:50	在宅における腹膜透析のケア
9:50 ～ 10:30	嚥下・誤嚥予防、ポジショニング、口腔ケア
10:30 ～ 11:10	認知症患者との関わり方
11:10 ～ 11:50	心不全の悪化予防
11:50 ～ 12:50	休憩
12:50 ～ 13:30	リンパ浮腫のケアの実際
13:30 ～14:10	在宅酸素・呼吸器疾患のケア
14:10 ～14:50	小児の医療的ケア
15:00 ～16:15	認定看護師と意見交換・まとめ、アンケート記入、閉会

訪問看護師スキルアップ研修 開催要項

開催日時	令和5年11月11日(土) 8:40~16:00
会場	黒部市民病院
集合場所	3階講堂

- 1 目的
 - 1) 地域の訪問看護ステーション看護師が、フィジカルアセスメントの技術・知識について学びを深め、訪問看護の質の向上を図る。
 - 2) 腎代替療法のなかで、在宅治療の一つである腹膜透析を理解する。
 - 3) 病院看護師と訪問看護師の交流を図ることにより、病院と訪問看護の連携を深める。

- 2 目標
 - 1) 呼吸・循環のフィジカルアセスメントの基礎を学ぶことができる
 - 2) フィジカルイグザムにより患者を評価し緊急性を判断できる。
 - 3) 腹膜透析の特性や合併症を理解し、腹膜透析使用器材を含めた多角的な観察力を身につける。

- 3 主催 富山県・富山県看護協会

- 4 講師 黒部市民病院

透析看護認定看護師 (特定行為研修修了生)	草切 幸
集中ケア認定看護師 (特定行為研修修了生)	八倉巻 考司
糖尿病看護認定看護師 (特定行為研修修了生)	開 弘美
がん薬物療法看護認定看護師 (特定行為研修修了生)	佐々木 良子
腹膜透析指導看護師	道中 理絵
腹膜透析指導看護師	田中 友世
フットケア外来担当看護師	喜渡 瞳

- 5 プログラム

時間	内容
8:50~9:00	オリエンテーション
9:00~10:20	呼吸のフィジカルアセスメント・実技
10:20~10:40	休憩・多職種連携ハイブリッドシミュレーション SCENARIO に触れる
10:40~12:00	循環のフィジカルアセスメント・実技
12:00~13:00	休憩
13:00~14:00	腹膜透析・講義
14:00~14:10	休憩
14:10~15:40	腹膜透析・実技
15:40~16:00	アンケート記入・意見交換

訪問看護師スキルアップ研修 開催要項

開催日時	令和5年11月21日(火) 8:30~16:00
会場	市立砺波総合病院
集合場所	1階 中央受付前

- 1 目的

訪問看護ステーション看護師が、病院での専門的医療や看護技術を通して、アセスメント能力を高め、今後の訪問看護サービスの質の向上のために活かすことができる。

訪問看護ステーション看護師と専門医療チームを含む病院看護師や入退院支援看護師との協議の場を通じて、連携強化を図ることができる。
- 2 目標
 - 1) 病院での医療機器装着患者の対応として、人工呼吸器装着患者の呼吸ケアや管理について学ぶ
 - 2) 緩和ケア、外来化学療法、摂食嚥下障害看護、認知症看護、人工肛門ケア（排泄ケア、褥瘡ケア）などの看護技術を学ぶ
 - 3) 訪問看護師と病院看護師が、在宅移行や退院支援・調整に関して情報交換を行い、今後の連携につなげる
- 3 主催 富山県・富山県看護協会
- 4 講師 市立砺波総合病院

呼吸器疾患看護認定看護師	特定行為研修修了	岸澤 由紀子
がん看護専門看護師		平 優子
緩和ケア認定看護師		高島 留美
がん看護専門看護師	がん化学療法看護認定看護師	山田 裕子
がん性疼痛看護認定看護師		前田 真裕美
摂食・嚥下障害看護認定看護師		谷口 めぐみ
老人看護専門看護師		長瀬 佐知子
皮膚・排泄ケア認定看護師		森田 初美
特定行為研修修了	創傷管理関連	鍋田 里子
患者総合支援センター師長		石田 典子

5 プログラム

時間	内容
8:30 ~ 9:00	受付、健康調査・オリエンテーション
9:10 ~ 10:10	急性期の人工呼吸器と呼吸器ケア、重症患者の看護ケア ネーザルハイフロー管理
10:10 ~ 11:30	がん看護について がん相談支援センター紹介、外来化学療法について、在宅療法（インフューザーポンプの使用、内服管理）CV ポートの管理 緩和ケア外来・緩和ケア相談について、在宅訪問看護、スクリーニングからの連携と専門的や役割について、緩和ケア病床の見学、疼痛管理、症状緩和
11:30 ~ 12:30	摂食嚥下ケア、嚥下ラウンド見学、ポジショニング
12:30 ~ 13:30	休憩
13:30 ~ 14:00	認知症高齢者の看護、認知症ラウンド見学
14:00 ~ 14:30	人工肛門ケア、排泄ケアの実際と指導について
14:30 ~ 15:30	患者総合支援センターの役割と機能について 入院時支援（PFM）退院支援カンファレンス
15:30 ~ 16:00	情報交換会

訪問看護師スキルアップ研修 開催要項

開催日時	令和5年11月29日(水) 8:30~16:00
会場	富山赤十字病院
集合場所	病院玄関正面 インフォメーション前

- 1 目的
- 1) 訪問看護ステーション看護師が在宅医療に必要な専門的医療や看護技術を学び、看護の質向上を図ることができる。
 - 2) コロナ禍における感染防止対策を学ぶことができる。
 - 3) 患者支援センターを起点とした入退院支援の実際や地域との連携を学ぶ。
- 2 目標
- 1) 急性期医療を必要とする場面に対応できるフィジカルアセスメントとケアを学ぶ。(呼吸編)
 - 2) 感染対策の基本となる知識・技術が理解できる。
 - 3) 在宅における褥瘡予防・ケアの知識や技術が理解できる。
 - 4) 訪問看護師と入退院担当看護師等が情報交換し、必要な情報や連携を学ぶ。

3 主催 富山県・富山県看護協会

4 講師 富山赤十字病院

感染管理認定看護師	長枝 智子
クリティカルケア認定看護師	浅生 かおり
皮膚・排泄ケア認定看護師	室林 紀子
看護師長兼地域医療連携課長	曾山 潤
在宅ケア認定看護師・認定看護管理者	加藤真理子
認定看護管理者	白井志津世

5 プログラム

時間	内容
8:30 ~ 8:45	受付・更衣
8:45 ~ 9:00	オリエンテーション、病院紹介
9:00 ~ 10:00	感染予防対策の基礎知識 在宅での感染予防対策
10:00 ~ 11:45	呼吸のフィジカルアセスメント (視て 聴いて 触って) 酸素療法の実際 (必要なデバイスを考える・人工呼吸器に触れる)
11:45 ~ 12:45	休憩
12:45 ~ 15:00	在宅で行う褥瘡予防と褥瘡ケア 褥瘡回診
15:00 ~ 15:30	患者支援センターの見学 地域医療連携や入退院支援の実際
15:30 ~ 15:55	情報交換会 (在宅ケア認定看護師を交えて)
15:55 ~ 16:00	アンケート記入 閉会

健康記録

氏名 _____ (_____ 歳)

発熱 (37.5℃以上)		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
検温	朝														
	夕														
呼吸器 症状	咳														
	痰														
	呼吸困難														
	咽頭痛														
倦怠感															
下痢															
嘔吐															
結膜炎															
メモ * その他の 症状などを 記載してくだ さい。															

- * 体温は、可能であれば、毎朝、毎夕の決まった時間に測定しましょう。
- * 症状があれば、(+)、無い時は、(-)と記載しましょう。
- * 体温が37.0℃以上、症状がある時は、所属上長に報告しましょう。